

## 令和3年度第1回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会会議録

日 時：令和3年6月22日（火）14時30～15時30分

会 場：瑞浪市化石博物館レクチャールーム

出席者 <協議会委員> 市之瀬 肇（学識経験を有するもの）  
島村 節男（学識経験を有するもの）  
西尾 京子（家庭教育の向上に資する有するもの）  
柴田 増三（社会教育関係者）（会長）  
吉田 尚子（学校教育関係者）  
<事務局> 柄澤 宏明（館長代理）・安藤 佑介

### 1. 委嘱状交付

館長代理より、新任の吉田委員に委嘱状を交付した。

### 2. あいさつ

柴田会長より開催の挨拶がなされた。

### 3. 報告事項

令和2年度事業報告について

令和2年度に実施した事業の結果を報告したが、質問や意見等はなかった。

### 4. 協議事項

令和3年度事業計画について

- ・講座について、新型コロナウイルスの影響等により令和3年度は開催を見送る計画であることを説明した。

委 員：新型コロナウイルスの状況が収束したら講座は再開するのか。

事務局：収束または見込みがある場合は来年度の企画を検討する。

委 員：土人形以外でも講座はできないのか。体験学習をもっと増やした方がよい。  
学校団体が来館したら対応できるようなプログラムがあってもよいと思う。

事務局：対応できる職員がいないのが現状である。

- ・企画展について

委 員：今年度の企画展は天野氏の作品を展示するが、展示後はどのように対応するのか。近年企画展を開催するごとに寄託作品が増えている。作品の仮置き場ではないことは承知してほしい。

事務局：今年度の企画展で展示する作品は企画展終了後引き上げる予定である。

委 員：收藏や購入する作品についてもよく検討してほしい。

事務局：市にゆかりのある作家の作品は市の財産として、ある程度は美術館で保管する必要がある。そのため、最近では寄贈を受けたり、一部購入するなど

して保存することにも努めている。

委員：雰囲気異なる作品が高密度で展示されている。特に絵画と彫刻は同じスペースにあるとバランスが悪くなる。展示の方法を再検討してほしい。

事務局：同じ作家の作品展示をローテーションで展示する方法などを検討する。

・来館者について

委員：良い作品がある一方で来館者がすくない、少なくとも市内の学校が毎年校外学習で来館するような状況を作してほしい。

事務局：学校との連携ができるように校長会等で広報していく。

・新博物館について

委員：時期としてはどれくらいを見込んでいるのか。

事務局：不明である。具体的な計画が決まってきたら協議会でも報告する。